

次世代エネルギーパーク計画書

1. 計画名称	浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク ～国土縮図型都市の多彩なエネルギーラインナップ～
2. 所在地	静岡県浜松市内
3. 計画策定主体	浜松市カーボンニュートラル推進事業本部 担当 須山直巳 〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2 TEL:053-457-2502 FAX:050-3730-8104 E-mail: ene@city.hamamatsu.shizuoka.jp
4. 実施運営主体	浜松市
5. 計画概要	(1)計画のコンセプト 【地域特性等の特色や創意工夫について、具体的に記載してください。】 浜松市は、東京と大阪のほぼ中間に位置する政令指定都市で、人口は約 79 万人（全国第 15 位）、面積は 1,558.04 平方キロメートル（全国第 2 位）を有し、東は天竜川、西は浜名湖、南は遠州灘（太平洋）、北は南アルプスの山々など、四方を豊かな自然に囲まれています。都市的機能や先端技術産業が集積する都市部、高度ものづくり産業と都市近郊農業が盛んな平野部、豊富な水資源に恵まれた沿岸部、そして、市域の約 70%を占める広大な森林を擁する中山間地域と、<u>全国に類のない多様性を有し、まさに国土縮図型の都市</u>と言えます。 新エネルギーに関する地域特性としては、国内有数の日射量と日照時間（2021 年は 2,327.7 時間で日本第三位）、遠州のからっ風、天竜川水系の豊富な水、天竜美林の木材など、<u>豊富かつ多種多様な新エネルギー資源に恵まれ、すでに多彩な新エネルギーが導入</u>されています。 新エネルギーに関する浜松市の取り組みとしては、平成 24 年 3 月に策定した「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の実行に取り組み、家庭や事業者の新エネルギー導入を推進するため、公共施設への率先導入や住宅用太陽光発電等の導入補助制度の充実を図っています。また、電気自動車をはじめとする次世代自動車の普及に向けた社会実験を産学官が一体となって進めています。 さらに、<u>平成 24 年 4 月には、エネルギー政策を専門的に行う部署として「新エネルギー推進事業本部」（現：カーボンニュートラル推進事業本部）を設置</u>し、エネルギーの地産地消、エネルギー自給率の向上に向け、民間事業者等との連携のもと、新エネルギー導入に関する新たな政策を推進しています。 事業本部は、エネルギー政策を市民や事業者等オール浜松で進めていくためのグランドデザインとして、平成 25 年 3 月に「浜松市エネルギービジョン」を策定しました。（令和 2 年 4 月改訂） エネルギービジョンでは、以下 4 つの政策を柱として、“エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会”「エネルギー・スマートシティ」の実現を目指すこととしています。 ◆浜松市エネルギービジョンの 4 本柱

- | | |
|----------------|-------------|
| ①再生可能エネルギー等の導入 | エネルギー自給率の向上 |
| ②省エネルギーの推進 | 低炭素社会の実現 |
| ③スマート化の推進 | エネルギーの最適利用 |
| ④環境・エネルギー産業の創出 | 地域経済の活性化 |

本市が計画している「次世代エネルギーパーク」は、これらの国土縮図型都市ゆえの豊富かつ多種多様（ダイバーシティ）な新エネルギー資源を活用し、「やらまいか精神 ※1」溢れる事業者と浜松市の官民一体による推進体制により、「浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク」を実現します。

※1 やらまいか精神：浜松地域に伝承する進取の気質で、「とにかく何でもやってみよう」、「必ず最後までやり遂げる」といった強靱な精神を形容している。この「やらまいか精神」のもと、ホンダ、ヤマハ、スズキ、浜松ホトニクスをはじめとする数多くの世界的企業が浜松で創業し、世界へと羽ばたいている。

【地域住民等国民各層の理解増進を促進するための、立地上の位置づけその他の工夫について記載して下さい。】

本計画は、広大な市内全域をエネルギーパークと位置づけ、環境教育の要素を取り入れるとともに、観光交流やビジネスマッチング等への展開も含め、多種多様な新エネルギーを効果的に体験・体感・学習することにより、広く国民の新エネルギーへの理解を促進します。

具体的には、市内 22 箇所に点在する関連施設を、3つのゾーン「シーサイドゾーン」、「レイクゾーン」、「フォレスト・リバーゾーン」に区分し、これらの施設間を移動・周遊することで、テーマ性・地域性を踏まえた新エネルギーを体験・体感・学習できるものとします。

また、これらの活動を通じて、本市のエネルギーポテンシャルを一層高め、さらなる新エネルギーの集積や投資も誘引していきます。

(2)計画の全体像

本市における次世代エネルギーパークの推進にあたっては、市内全域に所在する既存施設の有効活用を主眼とし、並行して民間活力による新たな新エネルギー関連設備の導入も図ります。

①新エネルギー関連施設をゾーニングにより区分

全国 2 位の面積を有する市域一帯を広大なエネルギーパークとして広く PR していきます。市内にある新エネルギー関連の発電や利活用の設備を持つ（もしくは導入予定）施設をエネルギーパーク関連施設として選定し、その施設による体験・体感・学習を通じて、本計画の目指すところである「地球環境と調和した、地域におけるエネルギーの在り方に関する理解の増進」を図ります。

施設の所在地は点在しているため、「浜松・浜名湖太陽光発電所」を中心となる施設とし、市内を「シーサイドゾーン」、「レイクゾーン」、「フォレスト・リバーゾーン」にゾーニングし、一体的なエネルギーの体験・体感・学習の機会を創出します。

②多様性豊かな新エネルギー先進地を全国情報発信

本計画を通じて、市民及び来訪者に、本市の先進的かつ多様性豊かな新エネルギーに関する取組みを紹介など、本市における新エネルギーのポテンシャルや実績を全国に向けて発信していきます。

③新エネルギー関連施設の充実

今後導入される予定の新エネルギー施設は、官民の事業主体にかかわらず、可能な限りエネルギーパーク関連施設に位置づけることで、さらなる施設の充実を図っていきます。

④次世代自動車による新エネルギー関連施設の周遊促進

市内には、市役所や区役所、民間事業所等、各所に急速・普通充電器が設置されています。

エネルギーパーク関連施設を周遊する際には、こうした設備を効果的に活用していただくことを推奨していきます。

【計画図があれば、別途添付してください。】

別添 1 浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク計画図

【計画が複数の地区や地域にまたがる場合、中心となる施設と個々の施設との地理的関係を明示するとともに、それらに関し、一体的に見学できるような工夫等について記載してください】

「浜松・浜名湖太陽光発電所」を中心として、それぞれの施設を「シーサイドゾーン」、「レイクゾーン」、「フォレスト・リバーゾーン」にゾーニングし、エネルギーを体験・体感できるように運営します。
それぞれのゾーンのテーマは以下のとおりです。

【シーサイドゾーン】

シーサイドゾーンのテーマは「生活と環境」です。

比較的都市部に近いシーサイドゾーンには、太陽熱利用機器や木質バイオマス機器を製造している「矢崎エナジーシステム株」、廃棄物発電を行っている「浜松市西部清掃工場」及び「浜松市南部清掃工場」、エネルギー体験施設としては、「池戸電気ソーラーパーク」、ソーラエナジー株が運営する「ソーラプラザ浜松」などが立地しています。

このゾーンでは、私たちの生活の中にある、身近なエネルギーを知ってもらい、積極的に生活に取り入れる方法を体験・体感・学習できるゾーンとします。

【レイクゾーン】

レイクゾーンのテーマは「太陽と風」です。

浜名湖畔を中心とするレイクゾーンには、本計画の中心となる「浜松・浜名湖太陽光発電所」、学校跡地を活用した「浜松いなさ太陽光発電所」、県内最大規模の太陽光発電所である「ソフトバンク浜松中開ソーラーパーク」、自社開発の太陽光発電システムを設置している「本田技研工業株トランスミッション製造部」、自社開発の太陽熱利用システムを取り入れた社屋「地球のたまご」を一般公開している OM ソーラー株、ふそう風力発電株が設置した「浜松風力発電所」などが立地しています。

このゾーンでは、浜名湖畔の開放的な空間で太陽と風の力強さを感じながら、それらを有効活用した新エネルギーを体験・体感・学習できるゾーンとします。

さらに、このゾーンには「浜松ホトニクス(株)産業開発研究所」や「光産業創成大学院大学」が立地しており、太陽の内部で起きている核融合反応を人工的に起こして発電するレーザー核融合発電の実用化を進めています。エネルギー関連施設の光産業創成大学院大学では、先端光技術を活用した研究開発について学ぶことができます。隣接する浜松ホトニクス(株)産業開発研究所については、世界のトップを走るレーザー核融合発電の研究開発の進捗を見据えつつ、今後、次世代エネルギーパークとしての施設指定も視野に入れていきます。

【フォレスト・リバーゾーン】

フォレスト・リバーゾーンのテーマは「森と水」です。

日本三大人工美林と称される天竜美林が広がり、その山間を天竜川水系が流れるフォレスト・リバーゾーンには、水力発電の「佐久間ダム」、「秋葉ダム」、「船明ダム」、エネルギー関連施設の「佐久間周波数変換所」、太陽熱利用システムや木質ペレットボイラー等を導入している「浜松市天竜区役所」、「浜松市天竜区春野協働センター」などが立地しています。

このゾーンでは、天竜美林とその合間を流れる天竜川の雄大な自然を感じ、その力を新エネルギーに展開することを体験・体感・学習できるゾーンとします。

(3)関連施設

【計画に含まれる個々の再生可能エネルギー等の施設・設備毎に記載下さい。】

1. 中心となる施設

浜松・浜名湖太陽光発電所／太陽光発電

①所有者・管理者：(株)シーテック、須山建設(株)

設置時期：平成 25 年 7 月

場所：浜松市西区呉松町内

②見学等に係る取り組み、体制

浜松・浜名湖太陽光発電所は、2つのメガソーラーで構成されており、発電能力は両区画あわせて約 3,500kW。現場見学が可能で、発電所の概要や発電量の表示等も見学可能。

③その他

当地は市有地である一般廃棄物の最終処分場を二区画に分け、民間事業者の有償貸付している。事業者はメガソーラー発電事業と地域活性化につながる事業を行っている。

	メガソーラー用地 A	メガソーラー用地 B・C
事業用地の面積	38,570.04 m ²	35,822.21 m ²
発電量 (想定)	1,999kW	1,500kW

2. 既設施設

【シーサイドゾーン】

<施設の名称> 浜松市西部清掃工場／バイオマス発電（廃棄物発電）

①所有者・管理者：浜松市

設置時期：平成 21 年 1 月

場所：浜松市西区篠原町 26098-1

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・ごみの焼却により発生する熱を利用した廃棄物発電施設。
- ・発電電力は清掃工場や隣接する水泳場に利用し、余剰電力は電力会社へ売電。
- ・発電規模：9,600kW

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・ごみ焼却施設であるため、通常の焼却業務の施設見学を行っており、その中で、発電業務についても説明・案内を行っている。

開場日：月～金曜日（祝日は除く）

休場日：土・日曜日、年末年始

開場時間：8:30～16:00

- ・既設の環境啓発施設「えこはま」において新エネルギーの学習が可能。

開場日：火～日曜日

休館日：月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始

開場時間：9:00～16:00

<施設の名称> 浜松市南部清掃工場／バイオマス発電（廃棄物発電）

①所有者・管理者：浜松市

設置時期：平成 7 年 12 月

場所：浜松市南区江之島町 1715

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・ごみの焼却により発生する熱を利用した廃棄物発電施設。
- ・発電電力は清掃工場に利用し、余剰電力は電力会社へ売電。
- ・発電規模：2,800kW

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・ごみ焼却施設であるため、通常の焼却業務の施設見学が行われており、その中で発電業務についても説明、案内を行う。

開場日：月～金（祝日除く）

開場時間：8:30～16:00

<施設の名称> 矢崎エナジーシステム浜松工場／太陽熱利用、バイオマス利用

①所有者・管理者：矢崎エナジーシステム(株)浜松工場

設置時期：太陽熱利用機器浜松工場（昭和 53 年 12 月操業開始）

木質ペレット利用機器（平成 20 年 2 月生産開始）

場所：静岡県浜松市南区東町 740

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・集熱器、貯湯槽での太陽熱利用機器、吸収冷温水機では木質ペレット、温水、蒸気を熱源利用する製品の製造。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・団体（10～20 名、個人は不可）を対象に、工場見学を実施中。
- ・浜松工場において製造している機器と製造工程の紹介。
- ・見学時間 1 時間～1 時間 30 分
- ・事前申込みにより対応可能（月～金 9:00～17:00）。

＜施設の名称＞ サーラプラザ浜松／エネルギー体験施設

①所有者：サーラエナジー(株)

設置時期：平成 22 年 10 月に耐震補強工事を完了

場所：浜松市東区西塚町 200

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・家庭用コージェネレーション（エネファーム）・太陽光発電・床暖房システムなどの最新ガス機器を体験できるショールームがあり、快適な生活スタイルやカーボンニュートラルな暮らしの提案をしている。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・事前申し込みにより対応。

＜施設の名称＞ 浜松水素ステーション／エネルギー関連施設

①所有者：サーラエナジー(株)

設置時期：平成 28 年 3 月 運用開始

場所：浜松市東区西塚町 200

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・水素インフラの整備による脱炭素社会の実現のため、サーラエナジー浜松供給センター敷地内に移動式水素ステーションを設置し、燃料電池自動車への水素充填を行っている。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

開場日：火、木、土曜日（祝日除く）

開場時間：10:00～14:00

- ・説明が必要な場合は事前申し込みにより対応。

＜施設の名称＞ 池戸電気ソーラーパーク／エネルギー体験施設

①所有者：池戸電気(株)

設置時期：平成 27 年 5 月

場所：浜松市中区森田町 80

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・野立て太陽光発電システムやソーラーカーポート、ソーラーLED照明灯等、様々な太陽光発電設備が展示されており、設置場所に合ったシステムを紹介している。隣接のショールームでは、住宅用太陽光発電、蓄電池、HEMS等が実演展示され、ZEHへの展開も体感できる。新技術紹介としてEV車とV2Hとの組み合わせによるEV車の蓄電池の充放電、停電対応も体験できる。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・見学可能時間：随時（年末年始等不定休日有り）

【レイクゾーン】

＜施設の名称＞ ソフトバンク浜松中開ソーラーパーク／太陽光発電

①所有者：浜松中開ソーラーパーク(株)

設置時期：平成 29 年 2 月

場所：浜松市西区協和町字中開、庄内町字中開および庄和町字中開

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・浜松市西区の浜名湖畔に設置された県内最大規模の太陽光発電所。発電量表示板あり。事業者はソフトバンクグループ(株)子会社の SB エナジー(株)と三井物産(株)（各 50%出資）にて設立した浜松中開ソーラーパーク(株)。発電能力は約 43,400kW。平成 29 年 2 月発電開始。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・外部からの見物・俯瞰のみ

＜施設の名称＞ 地球のたまご（OMソーラー）／太陽熱利用

①所有者・管理者：OMソーラー(株)

設置時期：平成 16 年 5 月

場所：浜松市西区村櫛町 4601

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・太陽熱利用システム機器の開発、販売。
- ・太陽熱、建築、エネルギー、住環境などをテーマに体感型の環境学習プログラムを社会人から学生まで幅広く実施。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・見学可能時間：10:00～16:00（要事前予約）

＜施設の名称＞ 光産業創成大学院大学／エネルギー関連施設

①所有者・管理者：学校法人光産業創成大学院大学

設置時期：平成 17 年 4 月

場所：浜松市西区呉松町 1955-1

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・宇宙太陽光発電に関する研究開発。
- ・光電変換技術を活用したエネルギー関連の研究開発。
- ・レーザー核融合に関する研究開発。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・団体（10 名から 20 名：個人は不可）、月～金曜日（祝日及び年末年始等は除く）に事前申込みにより対応可能（研究内容及び成果をパネル等で紹介）。

＜施設の名称＞ 本田技研工業㈱トランсмисシヨン製造部／太陽光発電

①所有者・管理者：本田技研工業㈱

設置時期：昭和 29 年工場設置（本田技研工業発祥の地）

場所：浜松市中区葵東 1-13-1

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・工場各所に Honda ソルテック製太陽電池を設置（浜松製作所全体で 315KW）。
- ・低コストであり製造過程で消費されるエネルギーを大幅に低減した、高効率の CIGS 薄膜式太陽電池による太陽光発電。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・団体（10 名～30 名：個人は不可）を対象に、工場見学を実施中。太陽光発電をはじめとする環境施設や自動車部品の加工、組立工程等を見学可能（所要 2 時間）。
見学可能日は月～金曜日の①9：00～11：00②13：30～15：30 各 1 回。
小中高生の見学申し込みについては要相談。見学希望日の 3 ヶ月前にインターネットより申込みが必要。

④その他

- ・工場の屋上緑化やエネルギー監視システムの導入、環境教育の徹底など省エネに関する取り組みや、浄化装置や雨水貯水槽の設置、「ふるさとの森」づくりなど地球環境の保全にも積極的に取り組んでいる。（平成 23 年度浜松市「新エネ・省エネ対策トップランナー」審査員特別賞受賞）

＜施設の名称＞ 浜松風力発電所／風力発電

①所有者・管理者：ふそう風力発電(株)

設置時期：平成 22 年 4 月

場所：浜松市北区滝沢町、引佐町川名地内

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・設備容量：2,000kW×10 台

- ・総出力：風速約 12m/s 時に定格出力 20,000kW（約 10,000 世帯分）を発電

- ・全高長（最高到達点）：119m

- ・ローター径（ブレード回転直径）：82m

③今回の計画に伴う見学等に係る取組み、体制

- ・自由に見学可能。ただし、無人設備であるため、団体による見学会等を行う際には事前の連絡及び調整が必要。

＜施設の名称＞ 浜松・浜名湖太陽光発電所／太陽光発電

①所有者：(株)シーテック、須山建設(株)

設置時期：平成 25 年 7 月

場所：浜松市西区呉松町地内

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・浜松市所有の一般廃棄物最終処分場「静ヶ谷最終処分場」に設置。2つのメガソーラーで構成されており、発電能力は両区画で約 3,500kW。

③今回の計画に伴う見学等に係る取組み、体制

- ・無人設備であるため自由に見学可能。

※説明等が必要な場合は事前の連絡及び調整が必要。

＜施設の名称＞ 浜松磐田信用金庫湖東支店／太陽光発電・地中熱利用

①所有者：浜松磐田信用金庫

設置時期：平成 23 年 8 月

場所：浜松市西区湖東町 1000-1

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・太陽の動きを追うように設置された太陽光パネルで発電した電力を店舗の照明に利用している。

また、地中熱を利用した空調システムも導入している。

③今回の計画に伴う見学等に係る取組み、体制

- ・一般見学等は行っていないが、隣接の道路等から施設全体を見学可能。

＜施設の名称＞ 浜松・いなさ太陽光発電所／太陽光発電

①所有者：中村建設(株)

設置時期：平成 25 年 9 月

場所：浜松市北区引佐町別所 9-42

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

・引佐北部中学校跡地を利用した太陽光発電所。

発電能力は 1,000kW、年間発電量は約 830,000kWh。

見学用歩道や非常用電源設備など中山間地域の活性化に寄与する設備も整備されている。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

・無人設備のため自由に見学可能（説明が必要な場合は要事前予約）。

＜施設の名称＞ ヒューテック環境ラボ(オムロンフィールドエンジニアリング株式会社)

／エネルギー体験施設

①所有者：オムロンフィールドエンジニアリング(株)

設置時期：平成 26 年 11 月

場所：浜松市北区新都田 1-4-1

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

・創エネ・蓄エネ・省エネ機器の効率的な運用を行うことで、スマートなエネルギーマネジメントの仕組み(S-EMS)の確立を目指す実証施設。機器設計/施工面だけでなく、継続的なエネルギーサービス提供に関する検証も行っている。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

・5～10名の団体 13:00～16:30

・月～金（土日祝日及び年末年始等不定休日を除く）に事前申込みにより見学可能。

【フォレスト・リバーゾーン】

＜施設の名称＞ 佐久間ダム／水力発電

①所有者・管理者：電源開発(株)

発電開始時期：昭和 31 年 4 月

場所：浜松市天竜区佐久間町地内

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

・佐久間ダムはコンクリート重力式ダム。硬い花こう岩の上に造られており、コンクリートの重みで水の力を支えている。この工事はアメリカの大型機械を使って、3年で完成させた。

・ダムの水は発電のために使うほか、一部は豊川用水として愛知県に供給しており、農業用水、水道用水、工業用水などに利用されている。

○貯水容量：32,685 万 m³

○発電所出力：佐久間発電所最大 350,000kW

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・ダム全体を上部から俯瞰可能。また、併設する佐久間電力館において、佐久間ダム、佐久間発電所の建設記録、水力発電所の仕組みや役割等について、パネル、模型、映像（ビデオ）で紹介。
- ・休館日：月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始日
※実際の営業状況については、要問い合わせ。

＜施設の名称＞ 秋葉ダム／水力発電

①所有者・管理者：電源開発(株)

発電開始時期：昭和 33 年 1 月（秋葉第一発電所）

場所：浜松市天竜区龍山町地内

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・秋葉ダムはコンクリート重力式ダム。秋葉ダム、秋葉第一発電所、秋葉第二発電所は佐久間ダムと同時期に建設された。その後、秋葉調整池に流入する水を有効利用するために秋葉第三発電所が建設された。
- ・秋葉調整池の水の一部は、三方原用水として、浜松市の三方原台地の農業用水や周辺の上水道などに利用されている。

○貯水容量：3,470 万 m³

○発電所出力：秋葉第一発電所 45,300kW

秋葉第二発電所 34,900kW

秋葉第三発電所 46,900kW

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・一般見学等はありませんが、ダム全体を上部から俯瞰可能することは可能。

＜施設の名称＞ 船明ダム／水力発電

①所有者・管理者：電源開発(株)

発電開始時期：昭和 52 年 4 月

場所：浜松市天竜区船明地内

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・船明ダムは重力式コンクリートダム。船明ダムは世界でも有数のローラーゲート（水門 9 門）で水をせきとめており、ゲート高さ 15.3m、幅 20m で 1 つのゲートの重さが約 300 トン。
- ・発電に使われた水は天竜川下流用水として、浜松地域を中心に農業用水、工業用

水、上水道に利用されている。

- ・魚がダムの上流にのぼれるように魚道を設置している。

○貯水容量：1,090 万 m^3

○発電所出力：船明発電所 32,000kW

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・一般見学等はありませんが、ダム全体を上部から俯瞰可能することは可能。

＜施設の名称＞ 佐久間周波数変換所／エネルギー関連施設

①所有者・管理者：電源開発(株)

運転開始時期：昭和 40 年 10 月

場所：浜松市天竜区佐久間町地内

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・佐久間周波数変換所は東日本の 50 ヘルツの周波数の電気と西日本の 60 ヘルツの周波数の電気をお互いに融通し、日本全体の電力の有効利用を図っている。
- ・周波数変換設備出力：最大 300,000kW。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・敷地内の一般見学等はないが、隣接する道路等から施設全体を俯瞰可能。

＜施設の名称＞ 浜松市天竜区役所／太陽熱利用、バイオマス利用等

①所有者・管理者：浜松市

設置時期：平成 23 年 3 月

場所：浜松市天竜区二俣町二俣 481

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・木質ペレット製造工場で製造された木質ペレットを使い、区役所庁舎の冷暖房に利用。
- ・FSC 認証材を使用した国内初の公的施設。
- ・57 平方メートルの太陽熱利用設備（OM ソーラー）を導入し、施設の暖房に利用。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・開庁時間：8:30～17:15（土日祝日・12/29 から 1/3 を除く）
- ・施設内の見学は原則自由。ただし、説明等が必要な場合は事前電話予約必要。

＜施設の名称＞ 浜松市天竜区春野協働センター／太陽熱利用、バイオマス利用

①所有者・管理者：浜松市

設置時期：平成 19 年 3 月

場所：浜松市天竜区春野町宮川 1467-2

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・木質ペレットを使ったペレットストーブによる暖房。
- ・太陽熱利用設備（OMソーラー）を導入し、施設の暖房に利用。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・開庁時間：8:30～17:15（土日祝日・12/29 から 1/3 を除く）
- ・施設内の見学は原則自由。ただし、説明等が必要な場合は事前電話予約必要。

＜施設の名称＞ 浜北クリーンセンター・はままつ友愛のさと・竜南緑地公園グリッド

①所有者・管理者：株式会社シーエナジー

設置時期：令和2年4月

場所：浜松市浜北区新地399

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・浜北クリーンセンターに設置した太陽光発電の電力を、自前の電線（自営線）を介して、隣接する「はままつ友愛のさと」と「竜南緑地公園」で使用するとともに、蓄電池にも充電することで有事の際の非常用電源とするマイクログリッドを構築している。また、平時に使い切れない太陽光発電の電力は、他のマイクログリッドへ供給して無駄なく活用する「浜松グリッド8」事業を実施している。
- ・太陽光発電（340.8kW）、蓄電池（30kW、78kWh）、LED照明設備（4.14kW）、ヒートポンプ（70kW）。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・敷地内の一般見学は行っていないが、隣接する竜南緑地公園から施設を見渡すことが可能。

6. 全体スケジュール

1. 追加施設計画

○平成30年度以降

随時追加し、エネルギーパークの充実を図る

2. 利用促進・PR計画

○平成24年度

- ・浜松市及び浜松商工会議所等関連団体の媒体（機関誌、ホームページ等）を活用したPR
- ・産業観光プログラムや地域オリジナルショートトリップ等への組み込み（浜名湖観光圏整備推進協議会等との連携）
- ・見学者受入体制（ワンストップサービス）の確立

○平成25年度

- ・前年度事業の継続及び充実
- ・浜松市主催施設めぐりへのプログラム化
- ・小中学生を対象としたエネルギー教育に活用

○平成 26 年度以降

- ・前年度事業の継続及び充実

7. 運営費

本市が所有する施設の管理・運営に係る費用は本市が負担します。また、民営の施設についても同様、民間企業が負担します。

なお、入場料または利用料等を徴する施設については、当該施設の運用に従うこととします。

8. 関連する新エネルギービジョン等

○浜松市環境基本計画／平成 20 年 3 月策定（平成 27 年 3 月改訂）

基本目標を「水と緑と光が響きあう環境共生都市」とし、本市が目指す環境の 5 つの基本方針及び「新エネルギーの活用促進」を含めた 24 施策の基本的方向を定めています。

○浜松市バイオマス産業都市構想／平成 26 年 1 月策定（令和 3 年 4 月改訂）

バイオマスの利活用に積極的に取り組み、資源循環型社会の構築を目指します。

○浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）／平成 24 年 3 月策定（令和 3 年 4 月改訂）

浜松市全域の温室効果ガス排出量を削減し、地球規模の気候変動対策に寄与していくことを目的とする計画。再生可能エネルギーの導入促進を含む 4 つの基本施策を定め、基本的な政策の方向性を示す国に協力しつつ、市民、事業者、市がそれぞれに求められる役割を果たしながら、相互に連携して地域特性に応じた最も効果的な施策に取り組みます。

○浜松市エネルギービジョン／平成 25 年 3 月策定（令和 2 年 4 月改訂）

エネルギービジョンでは、本市の目指すべき将来ビジョンとして「エネルギー・スマートシティ」を掲げています。「エネルギー・スマートシティ」とは、” エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会”です。そのため、エネルギー自給率を高める「再生可能エネルギー等の導入」、低炭素社会を実現する「省エネルギーの推進」、エネルギーを最適利用する「スマート化の推進」、スマートシティ・浜松を技術的に支え地域経済を活性化する「環境・エネルギー産業の創出」をエネルギー政策の 4 本柱として、様々な事業に取り組みます。

○添付資料

1. 計画図

別添①

浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク計画図

- 太陽光発電
- 太陽熱利用
- 水力発電・小水力発電
- 風力発電
- バイオマス発電・バイオマス利用
- エネルギー体験施設
- エネルギー関連施設

レイクゾーン 【太陽と風】

「浜松・いなさ太陽光発電所」



「浜松風力発電所」

「ヒューテック環境ラボ」



「浜松中開ソーラーパーク」



「光産業創成大学院大学」



「本田技研工業
トランсмисシヨン製造部」



「浜松・浜名湖太陽光発電所」



「地球のたまご」



「浜松磐田信用金庫湖東支店」



「西部清掃工場」



「池戸電気ソーラーパーク」



「南部清掃工場」



「佐久間ダム」



「佐久間周波数変換所」



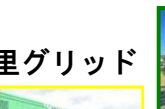
「秋葉ダム」



「船明ダム」



「天竜区役所」



はままつ友愛の里グリッド

「サンプラザ浜松」



「矢崎エナジーシステム」



フォレスト・リバーゾーン 【森と水】



シーサイドゾーン 【生活と環境】

「浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク」対象施設

エネルギー \ ゾーン	シーサイドゾーン 【生活と環境】	レイクゾーン 【太陽と風】	フォレストリバーゾーン 【森と水】
●太陽光発電	★池戸電気ソーラーパーク	★浜松・浜名湖太陽光発電所 (シーテック、須山建設) ★浜松・いなさ太陽光発電所 ★本田技研工業 ★浜松磐田信用金庫湖東支店 ★浜松中開ソーラーパーク	
●太陽熱利用	★矢崎エナジーシステム	★地球のたまご(OMソーラー)	☆天竜区役所(浜松市) ☆天竜区春野協働センター (浜松市)
●水力・小水力発電			★佐久間ダム(電源開発) ★秋葉ダム(電源開発) ★船明ダム(電源開発)
●風力発電		★浜松風力発電所 (ふそう風力発電)	
●バイオマス発電 ・バイオマス利用	☆西部清掃工場(浜松市) ☆南部清掃工場(浜松市) ★矢崎エナジーシステム		☆天竜区役所(浜松市) ☆天竜区春野協働センター (浜松市)
●エネルギー体験施設	★サーラプラザ浜松(サーラエナジー)	★ヒューテック環境ラボ (オムロンフィールドエンジニアリング)	
●エネルギー関連施設	★浜松水素ステーション(サーラエナジー)	★光産業創成大学院大学	★佐久間周波数変換所 (電源開発) ☆はままつ友愛のさとグリッド(浜松市)

★民間等施設 ☆公共施設